科目名	保健体育Ⅱ（Health & Physical EducationⅡ）						
学　年	学　科（コース）	単　位　数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第2学年	機械工学科	履修	2単位	必修	実技	通年	60時間
担　当　教　員	【常勤】 教授　石尾　潤						

学　習　到　達　目　標

科目の到達目標レベル	(1)ゲームを楽しめるよう各種目の基本技術を高めて行くことができる。 (2)ゲームの中で、自分の技能を発揮することができる。 (3)自分がプレーを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	ゲームを楽しめるよう各種目の集団技能を身につけることができる。	ゲームを楽しめるよう各種目の基本技術を高めて行くことができる。	ゲームを楽しめるよう各種目の基本技術を身につけることができる。	各種目の基本技術を身につけることができない。
到達目標②	チームプレーの中で、自分の技能を発揮することができる。	ゲームの中で、自分の技能を発揮することができる。	自分の技能に応じて、ゲームに参加することができる。	ゲームに参加する姿勢を示すことができない。
到達目標③	ゲームを楽しむために、ルール・審判・対戦相手を尊重することができる。	自分がプレーを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	ゲームを通して、他者とのコミュニケーションを図ることができる。	ゲームを通して、他者とのコミュニケーションを図ることができない。

学習・教育到達目標	(H)	JABEE基準1（2）	

達　成　度　評　価　（%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合								100	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】									
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】									
汎用的技能【コミュニケーションスキル】								○	
態度・志向性(人間力)【主体性、チームワーク力、リーダーシップ】								◎	
総合的な学習経験と創造的思考力【　】									

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	
補助教材等	必要に応じて資料を配布する

学習上の留意点
1. 授業への参加・取り組み姿勢(50%)と運動技術、スポーツテスト(50%)により評価する。 2. 欠席、遅刻、見学は減点する。体操服(学校指定のもの)を忘れたら見学扱いとする。 3. クラスの男女比、施設、天候などにより授業内容が変更することもある。 4. 体調管理に留意して授業に参加すること。

担当教員からのメッセージ
安全面に留意し、自主的に授業に参加できるように。また、協調性を持って行動できるように。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	1. オリエンテーション	今年度の授業概要を把握し、到達目標を理解できる。	
2 3 4	2. スポーツテスト a)50m走 b)立ち幅跳び c)ハンドボール投げ d)持久走 e)握力 f)上体起こし g)長座体前屈 h)反復横跳び	自己の体力水準を把握することができる。	
5 6 7 8	3. バレーボールⅡ	(1)ゲームを楽しめるようパスやレシーブなどの基本技術を高めて行くことができる。 (2)ゲームのなかで、自分の技能を発揮することができる。 (3)自分がゲームを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	
9 10 11 12	4. ソフトボールⅡ	(1)ゲームを楽しめるよう送球や捕球などの基本技術を高めて行くことができる。 (2)ゲームのなかで、自分の技能を発揮することができる。 (3)自分がゲームを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	
13 14	5. 水泳Ⅱ	(1)クロールと平泳ぎの基本動作を高めて行くことができる。 (2)水中ボールゲームのなかで、自分の泳力を発揮することができる。	
	前期末試験		
15	5. 水泳Ⅱ	(3)自分がゲームを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
16 17 18 19 20	6. サッカーⅡ	(1)ゲームを楽しめるようパスやコントロールなどの基本技術を高めて行くことができる。 (2)ゲームのなかで、自分の技能を発揮することができる。 (3)自分がプレーを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	
21 22 23 24 25	7. バスケットボールⅡ	(1)ゲームを楽しめるようパスやドリブルなどの基本技術を高めて行くことができる。 (2)ゲームのなかで、自分の技能を発揮することができる。 (3)自分がプレーを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	
26 27 28 29	8. バドミントンⅡ	(1)ゲームを楽しめるようサービスやレシーブなどの基本技術を高めて行くことができる。 (2)ゲームのなかで、自分の技能を発揮することができる。 (3)自分がプレーを楽しむのはもちろん、仲間と協力してゲームを楽しむことができる。	
	学年末試験		
30	8. バドミントンⅡ		
総 授 業 時 間 数			60 時間